

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月1日

## 【評価実施概要】

事業所番号	270201874
法人名	社会福祉法人つがる三和会
事業所名	グループホーム城西
所在地 (電話番号)	〒036-8279 青森県弘前市茜町二丁目1-18 (電話) 0172-31-4533

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年9月28日	評価確定日	平成20年12月1日

【情報提供票より】(平成20年8月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	7人, 非常勤 9人, 常勤換算 13.75人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	3階建ての 2階 ~ 3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	9,600 ~ 冬期12,600 円	
敷金	有( ) 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(8月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	6 名	要介護2	3 名		
要介護3	7 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80.9 歳	最低	59 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	弘前小野病院、久米田歯科
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>弘前市の郊外に立地し、ホールからは岩木山が一望でき、のどかな環境の中にある。周囲には小学校やショッピングセンターなどがあり、買物しながらの散歩や子供達との交流の機会も多い。ホールには畳が敷かれ、掘ごたつもある。洗濯物をたたむなど入居者は職員と一緒に過ごしている。職員は定期的に勉強会へ参加し、自己の向上にも努めている姿勢がうかがわれる。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回同様、基本的なことには取り組んでおり、今後ともいっそう利用者本位の福祉サービスの提供を期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回同様、職員一丸になって自己評価を行っており、現状に満足することなく、これからも更なるサービスの質の向上が望まれる。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>町内会や行政の方も熱の入った討議が活発に行われており、運営のあり方にいい影響を及ぼしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>意見などがあれば、法人の運営会議にかけられ、改善策を講じている。</p>
	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の町内会や、保育園、小学校などとも声がけや挨拶から始まり、事業所主催の夏祭りを開催したり、訪問やボランティア等の受け入れも積極的に行われ、双方の交流・連携が活発に行われており、とても地域に解け込んでいると言える。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を前提とし、地域との関係、入居者の尊厳を保つ理念を作り上げ職員にも周知されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	週に1回のミーティングを通じて職員に理念の浸透を図り、日常生活援助の中で意識しながら介護に携わっている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の交流は活発で、小学生の訪問、運動会、発表会見学、ボランティアなどの受け入れも行っているほか、所長も町内会の集會に参加、廃品回収に参加している。また、夏祭りを開催した際には、地域の人々の参加もあり、散歩時に近隣住民から声を掛けられる事も多くなっている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価について職員は理解し、全職員で自己評価に取り組み、その後話し合い、一つにまとめている。職員意識を高める為、改善項目に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者、家族、市介護保険課、包括支援センター担当者、町内会長、民生委員などが参加し、活発な意見交換をしている。事業所運営に生かすよう努力している。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護保険課に出向いたり、電話連絡などで問題点があった場合の確認・検討などされており、課題解決に努める姿勢が見受けられる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在対象となる人はいないが、職員の知識向上の為にも研修会などにも参加し、更に職員同士での勉強会も開催している。又事業所内にもパンフレットなどを掲示している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>資料などに基づいて虐待防止の勉強会を開催している。管理者を中心に日々のケアに対しても意識して、虐待防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、家族に十分な説明をし、意向などを確認し、理解を得て契約を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月発行しているお便りに金銭管理状況などを添付し、一緒に送付している。また健康管理面では随時家族に報告し、連絡を取り合っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置しているほか、面会時には声がけし、意見を取り入れる姿勢が見られる。また月1回の運営会議の場でも家族から意見が活発に出されている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職については利用者の精神的な負担にならないよう最小限に抑えられている。また異動がある場合には、認知症ケアについて十分勉強した職員を配置し、異動時にはさりげなく接するよう留意している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員に対しては段階に応じた研修を計画している。また法人としての月1回の勉強会参加や同一法人内の3箇所グループホームだけの勉強会も開催し、職員全員のスキルアップに努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流を図り、年間計画を立てて勉強会を実施している。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が利用者に野菜作りを指導されたり、その人にあった役割がスムーズに出来る環境を作っている、家族に随時報告し本人は安心してサービスが利用出来るよう支援している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常の中で利用者個々に合った役割があり、利用者の意見を尊重した支援を行っている。将棋をさしたり、漬物を一緒に漬けたりするなど、以前の趣味や利用者個々に合った役割を尊重して過ごしてもらっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活の中で行動、言動などを観察し、意向を確認して支援にあたっている。また、意向の把握が困難な時には職員、家族を交え、話し合いを設けることを検討している。</p>	○	<p>個々の利用者の日々の生活や趣向を尊重しすぎるあまり、喫煙する者を尊重しようとする姿勢は良いものの、他の非喫煙者に対する配慮が不十分であり、今後の取り組みが期待される。</p>
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケア会議なども定期的に行われており、家族の面会時には意向の確認や職員の意見も反映した介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は期間に応じて担当者会議を開催して見直し、また状況の変化に応じて計画書の見直しをし、家族の同意も得られている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院介助などの移送サービスを行ったり、同法人の看護師さんが訪問し、健康管理を行ったりしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっており、家族の協力を得た受診もされている。また、家族が付き添えない時は、職員が通院援助を行い、受診後に家族に対して状況報告や確認がなされている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、家族や本人との話し合いを持ち、意向を確認している。施設での終末期の対応、重度化した時は他の施設、同法人の施設への入所を勧めているが、家族の意向が強い時は状況に応じて施設での対応も行える体制は整っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物は決まった場所に保管されている。利用者に対しての言葉がけなど、さりげなく対応することでプライバシーの保護に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者に意向を確認しながら散歩したり、近所のスーパーへ出かけて必要な物を購入したり、月1回の外食も兼ねて気分転換を図ったりして、メリハリのある生活を援助している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員と一緒に食事を楽しんでいる、こぼしたりしている人がいる時は、さりげなく拾って片付けなども一緒に行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>温泉を利用した入浴施設があり、利用者の満足度も高い。入浴日は決まっているが、希望があればいつでも入浴出来る体制にある。入所者の中には毎日入浴している人もいる。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>以前の生活歴の中から、出来ることを見出して掃除、洗濯や衣服のたたみなどを職員と一緒に言い、利用者が生活意欲を引き出すように支援を行っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>月1回は外食もかね外出を行っている。また体調や気候を考慮して散歩などをし、近隣との交流にもつながっている。畑の収穫を一緒に行うなどの外出支援もしている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルがあり、職員がいつでも見れる所に保管している。勉強会などが開催され、職員は身体拘束しないケアを意識し支援している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵を掛けないケアを実践するためのセンサーなどを設置し、職員が利用者の行動を目配りするように支援している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、昼・夜間を想定した避難訓練を行っている。訓練時は町内会長、消防所、協力員などの参加もある。外部からも多くの意見が活発に出されており、次回の訓練時に意見が反映される。職員の有事における連絡網が備わっている。</p>	○	<p>夜間想定での避難訓練も行っているものの、一級河川の岩木川に近い立地上に鑑み、今後水害や地震時を想定した訓練も行われることを期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>併設の通所介護施設の栄養士が利用者の嗜好も考慮し、献立を決めている。また、食事摂取量や水分摂取量なども記録されていて、全職員が確認出来るようにしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症に関しては勉強会を開催し、マニュアルも作成され職員がいつでも見れる所に保管している。また日々の生活で手洗い、うがいなども実施し、感染予防に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂ホールは広い空間で、利用者のことを考え畳が敷かれ、掘りごたつもある。また温・湿度管理もなされおり、大きな窓からは適度の光が差しこんでいる。食卓には観葉植物が置かれ、心和めるよう支援している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には本人が使用していた馴染みの物や、家族の写真なども飾られ、利用者が安心した生活ができるように配慮している。</p>		

 は、重点項目。